

## 【実施要項】

- 1 目的 ①広島・京都の歴史や文化を学び体感することで、伝統文化を継承する心や平和な社会を実現しようとする心を育てる。  
 ②これまでの経験を生かし、班行動計画や活動を行うことによって自主性を高める。  
 ③学級や学年で協力し、中学校生活の思い出を作る。  
 ④見学した場所や学んだことをまとめ、発表することで表現力の向上を図る。

2 実施期間 平成29年 9月14日(木)～16日(土)

3 目的地 広島・京都 方面

4 宿泊場所 9月14日(木) 広島の宿 相生 広島市中区大手町1丁目3-14 TEL 082-247-9331  
 9月15日(金) 四季育む宿 然林房 京都市北区鷹ヶ峯鷹峰町40番地 TEL 075-491-2231

9/14/16本部携帯 080-5381-5425 (緊張時のみご使用ください)

5 主な行程

	内容	夜	備考
1日目 9/14	品川駅集合(7:00頃) 品川駅発(7:47)→広島着(11:41)→ 厳島神社・原爆ドーム→広島(泊)	被爆者体験講話	昼食：新幹線内
2日目 9/15	広島→京都(班行動)→京都(泊)	漆器の加飾体験	昼食：各自班行動内 班行動：生活班
3日目 9/16	京都→京都タクシー行動→京都駅発(14:05)→品川着(16:16頃)		昼食：各自班行動内

- 6 班編成 ①京都市内班行動：1クラス6班 学年計18班  
 ②部屋：1クラス男子2or3部屋 女子2部屋 1部屋 男子5～10名 女子6～8名

### 生活班

係	人数	仕事内容
班長	1	班の統率・連絡、コース作成
副班長	1	しおり作成、コース作成
保健	1	班員の健康管理
会計	1	班行動の会計
学習	2	事前事後学習の掲示 見学場所の資料などの保管

### 部屋係り(広島・京都それぞれ)

係	人数	仕事内容
室長	1	室内の管理、貴重品の回収
入浴	1～2	浴室・脱衣所などの整備 忘れ物点検
保健	1～2	健康管理
整美	1～2	室内美化
食事	1～3	配膳準備 食事のさいの挨拶など

- 7 服装 全行程…夏の標準服(防寒対策でスクールセーターの着用は可)  
 宿舎内…私服(華美でないもの、膝が隠れる長さのスボン) ※体操着は可  
 就寝時…パジャマ等(そであり・ひざ丈以上のもの)

## 【校長先生より】

### 特別な意味ある地へ

本年度、本校の修学旅行は、日本に生きる皆さんにとって特別な意味ある地で実施されます。計画した学年の先生方の思いをぜひ受け止めてください。さらに、君たちの成長を行事に託すかのように、実施要項の「目標」をよく読んでください。特に、①④にはこう示されています。

①広島・京都の歴史や文化を学び体感することで、伝統文化を継承する心や平和な社会を実現しようとする心を育てる。

④見学した場所や学んだことをまとめ、発表することで表現力の向上を図る。

世界唯一の被爆国である日本に生きる皆さんは、広島で原爆被害の現実を直視すべきです。中学生の時代に現地を訪ね、資料館の内容を経験できることは貴重なことなのです。さらに、京都で町全体から日本文化を感じて、メディアの情報だけではわからない何かを、空気を通して味わってきてください。

復興の跡をたどることができる広島市内、生活の中に取り入れられた自然や小路に息づく京都の人々の暮らし、壮大な事業である寺社の建築、当時の最先端であった仏像の表現等、事前に知っている興味は限りなく広がります。おそらく生涯にわたって楽しめる教養として外国の方たちにも伝えられるでしょう。

また、班行動では突発的な出来事がつきものです。その際には事前の準備と冷静な対応が君たちを救い、周囲の人の助けが道を開いてくれるでしょう。

そして、伸長を見せている皆さんの表現力は、聞き手を意識することで養われます。人に伝えるための意識を高める機会としてください。欲張り過ぎかな。

校長 平川 恒美

## 【実行委員長より】

### 平成29年度 修学旅行スローガン

### ～日本の伝統と歴史を学び、後世に伝えよう～

いよいよ修学旅行が始まります。修学旅行は、中学校生活で最後の宿泊行事になります。1年生の時には移動教室、2年生の時には夏季学園や班別行動での遠足も行いました。それぞれの行事で集団行動について学んだと思います。3年生の修学旅行はこれまでの集大成となっています。2日目・3日目には、京都での班別行動があります。知らない地での行動ですが、これまでの経験をいかし、臨機応変に行動していきましょう。

私たちは、京都に加え、広島にも行きます。広島は戦争に関わりの深い都市でもあります。これまでの平和学習を通し、広島と戦争についての知識が深まったと思います。広島での見学は「自分がすべきことは何か」を考えさせてくれるよい機会となります。ぜひ考えてみてください。

実行委員会では、～日本の伝統と歴史を学び、後世に伝えよう～という修学旅行スローガンを掲げました。京都や広島でしか知る、学ぶことができないものをしっかりと感じとりましょう。そして、そこで得たものを持ち帰り、これからの生活にいかしていきましょう。

学年全体で協力し、修学旅行を最高の思い出にしましょう。

3年1組 FM